

桂月の文学碑を訪ねて ⑬



「山神」

も土俵の跡が確認でき、祭りの日は地区の人々が集まって賑わったといえます。

この碑建立の年である大正14年5月23日早朝に、定宿の葛温泉を出発し堅雪の八幡岳を経て、七戸への旅をしています。

七戸には4日ほど滞在して、東北町の坪の石文や七戸町の瑞龍寺などを訪ね書会も開いています。

『山神』の揮毫はこのときの訪問で行われたものと思われれます。この旅で詠んだ和歌の文学碑が、東北町、七戸町にもあります。

また、桂月はこの旅を終えた13日後に永眠しています。

碑のある場所は、国道4号北野から三沢・七戸線の芋久保交差点を1キロほど北へはいった山林にあります。



七戸町に残る、桂月の書写真提供は、成田紋治氏

問い合わせ先

総務課文書広報係

(☎) 5111 内線156

友好都市花巻市へ小学生を派遣しました

花巻市で開催された「友好都市少年少女交流キャンプ」に、本市の小学生5・6年生28人を派遣しました。キャンプには花巻市から24人、花巻市と友好都市である神奈川県平塚市からは小学生36人が参加し、総勢88人の児童が集いました。

はじめは遠慮がちに話していた子どもたちも、すぐに打ちとけて仲良くなりました。

交流プログラムは、こけしの絵づけ、放流されたイワナのつかみ取り、キャンプファイヤー、花巻名物のわんこそば大会などと工夫され、有意義な交流でした。



みんなで記念撮影

また、例年のキャンプ開催場所である「平塚・花巻交流の森」で、キャンプ交流10周年の記念植樹も行われました。本市からの子どもたちも、花巻市の木「こぼし」のほかに、「しだれ桜」を植樹しました。いつの日か、植樹した木の成長を確かめるために交流の森を訪れ、この交流を懐かしく思い出す日がくることでしょう。



植樹した木をバックに記念写真



イワナをつかみました!



かわいいこけしができました

問い合わせ先

スポーツ青少年課

(☎) 5111 内線6534